



# テクニカル・メッセージ

## ホイールハブベアリング焼付きの予兆事象と点検整備について

車検、分解整備後にハブベアリングの焼付き、火災及び脱輪の重大事故が発生しています。ハブベアリング焼付き前の予兆の事象があった場合には、速やかに適正な点検及び整備を行い、焼付きによる被害の拡大及び重大事故の発生を未然に防止してください。

### ■ ホイールハブベアリング焼付きの予兆事象について

ハブベアリング焼付きの前には、下記の予兆事象がありますので、それらの事象を確認した場合には速やかに適正な点検及び整備を行ってください。

- ・ 走行中にハンドルがガタつく場合があります。
- ・ 車輪から異音が発生する場合があります。
- ・ 車輪から煙がでる場合があります。
- ・ 車輪が異常に熱くなる場合があります。
- ・ ABS警報ランプが点灯する場合があります。

#### 注意

左記の事象が発生した（今までになかった事象が突然発生し持続している）場合には、ハブベアリング焼付きの予兆事象の可能性あります。

### ■ ハブベアリング焼付きの予兆事象が発生した場合の点検及び整備について

#### 1) (ドライバー、運行管理担当者様へ)

上記の予兆事象が発生した場合には、安全な場所に速やかに停車し、全車輪のホイール中央部分に手を近づけて、他の車輪と比べ異常に発熱している車輪がないかを確認してください。

- ① 異常に発熱している車輪があった場合には、日野販売会社または整備専門者の出張による点検を依頼してください。

#### 注意

ハブベアリング焼付きの予兆事象の場合、走行を続けると早期に焼付き火災、脱輪に至る場合がありますので、原因が判るまで走行を停止してください。また、触ると火傷の恐れがありますので注意してください。

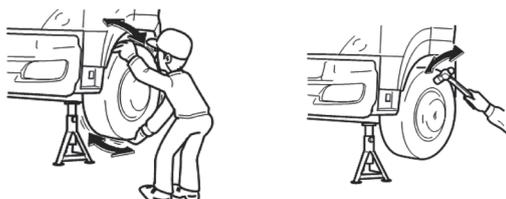
- ② 異常に発熱している車輪がない場合には、日野販売会社または整備専門者に、早めの修理を依頼してください。

#### 2) (日野販売会社及び整備専門家様へ)

上記の点検または、修理を依頼された場合には、全輪をジャッキアップし、タイヤにガタや異音、ゴリ感がないか、ハブベアリングのプリロード調整は適正か（起動トルク等の測定）を確実に確認してください。

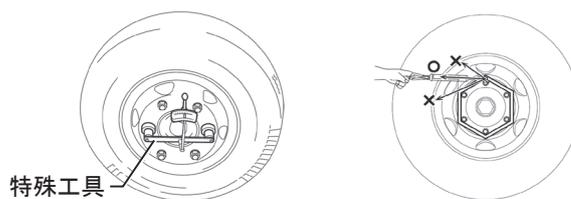
#### (タイヤのガタ点検)

手でゆする、もしくはハンマーで叩く



#### (プリロード調整：起動トルク等の測定)

トルクレンチ、もしくはバネばかりで測定



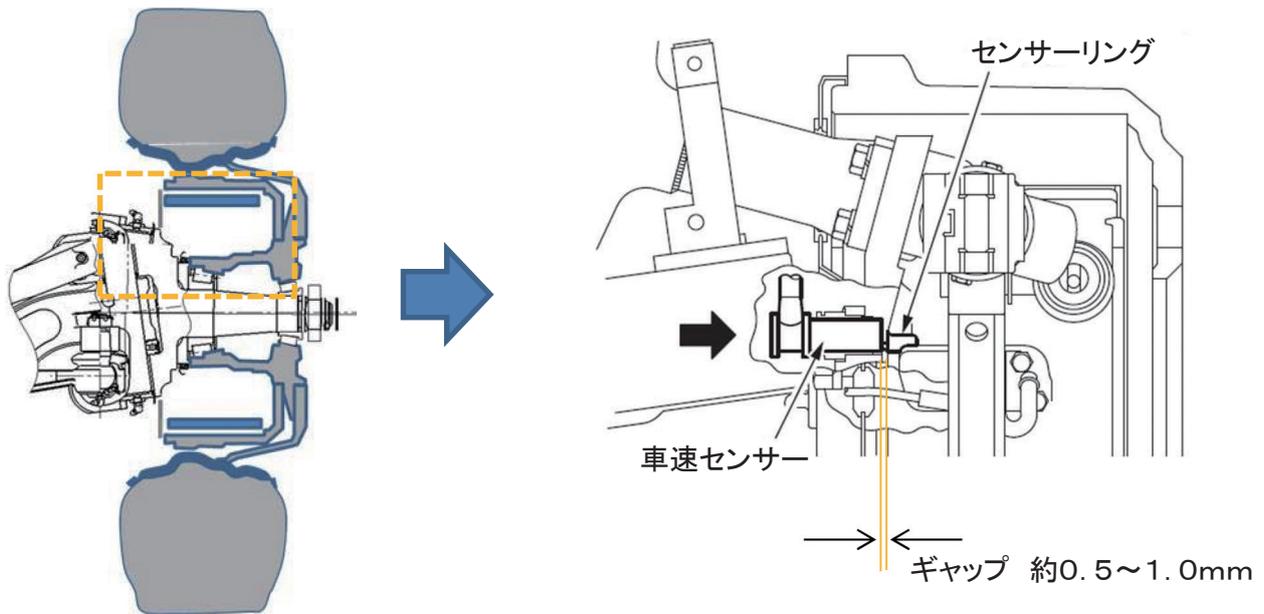
- ① タイヤにガタがあるか、プリロード調整が不適切な場合には、アウターベアリングを取り外した後、適正なハブベアリングの分解整備を行ってください。
- ② タイヤにガタがなく、プリロード調整が適正な場合には、その他の原因を追究の上、修理を行ってください。尚、ABS警報ランプ点灯時は、整備解説書に示す手順で診断、修理を行ってください。

## (補足説明)

## ■ ABS警報ランプ点灯がハブベアリング焼付きの予兆事象となる説明

ABSは、各車輪の車輪速センサーで制動時の車輪のロック状態を監視し、制動時の油圧やエア圧をコントロールして車輪のロックを回避しています。車輪速センサーは、車輪のホイールハブの内側に組込まれたセンサーリングに、約0.5~1.0mmのギャップ（間隙）でアクスル側に固定されています。ハブベアリングが破損するとハブがガタつき、上記ギャップが拡大し、ABSの警報ランプが点灯します。尚、車輪速センサーは、車型によって装着輪が異なり、全車輪に装着されていない場合がありますのでご注意ください。車型ごとの車輪速センサーの装着輪の詳細は、整備解説書を参照ください。

(前輪の断面図でABS車輪速センサーの位置を説明)



(FR車（高床3軸車）ABS車輪速センサーの取付車輪の例)

